

2017 Competition Rulebook

International Unicycling Federation

Final Version June, 2017

Part 3

Track: Other

2017IUFルール 2017年6月最終版 日本語訳

第3章

トラックレース

トラック総合チャンピオン決定6種目以外の種目編

(100m 400m 800m 片足レース

タイヤ乗り IUFスラローム以外)

Translated to Japanese by:Mitsuru TOKUTAKE

A member of “International Committee”

Japan Unicycling Association

May 2018

翻訳者：(公社)日本一輪車協会 国際委員会

国際委員 徳武 満 (Mitsuru Tokutake)

2018年5月作成

Contents

3A Overview 42

3A.1 Definition 42

3A.2 Rider Summary 42

3B Competitor Rules 43

3B.1 Safety 43

3B.2 Unicycles	43
3B.3 Rider Identification	43
3B.4 Protests	44
3B.5 Wheel Size Categories	44
3B.6 Event Flow	44
3B.6.1 Relay (Track)	44
3B.6.2 Coasting Events	45
3B.6.2.1 Road Coasting	45
3B.6.2.2 Track Coasting	45
3B.6.2.3 Downhill Coasting	45
3B.6.2.4 Indoor Coasting	45
3B.6.3 Gliding Events	46
3B.6.3.1 Slope Glide Or Track Glide	46
3B.6.3.2 Downhill Glide	46
3B.6.4 Slow Forward	46
3B.6.4.1 Timing	46
3B.6.4.2 Optional Penalty Rules	47
3B.6.4.3 Qualification and Final rounds, Age Group ranking	47
3B.6.5 Slow Backward	48
3B.6.6 Slow Giraffe Race	48
3B.6.7 Stillstand	48
3B.6.8 700c Racing	48
3B.6.9 Unlimited Track Racing	49
3B.6.10Juggling Unicycle Race	49
3B.6.11Ultimate Wheel Race	49
3B.6.1250m Fast Backward	49
3B.6.13Medley	49
3C Judges and Officials Rules	50
3D Event Organizer Rules	51
3D.1 Communication	51
3D.2 Age Groups	51

目次

・・・ (目次については翻訳省略) ・・・

3A Overview

3A. 概要

3A.1 Definition

These are optional events, not guaranteed to be included in every unicycle convention. They can be held with as much, or as little, level of formality and importance the host chooses. All of the events in this section have been run before, using these rules.

3A.1 定義

UNICONにおいて毎回開催されるとは限らない（レース必須6種目以外の）種目の競技が追加的に行われることがある。この追加で開催される種目の多寡、そして競技のレベルについては主催者の裁量によるものとする。この章に規定があり、過去に開催されたことのある種目については、以下に規定する規則を使用する。

3A.2 Rider Summary

This section is intended as an overview of the rules, but does not substitute for the actual rules.

- Be aware of any required safety gear.
- Some of these events may have wheel size and crank length requirements that you need to be aware of.

3A.2 選手が注意すべきルールの概要

この章は当規則の概要について述べることを意図したものであって、現在のルールに取って代わるものではない

- 装着することが必要となるプロテクター類の規則に注意すること。
 - 一部の種目においては、車輪径ならびにクランク長の要件に注意すること。

3B Competitor Rules

3B選手に対する規則

3B.1 Safety

Riders must wear shoes, knee pads and gloves (definitions in chapter 1D.1), unless otherwise noted, below.

Riders on wheels larger than 24 Class (or with gearing) must also wear helmets.

The Downhill Coast, Downhill Glide, and 50m Fast Backward races require helmets.

3B.1 プロテクター類

以下に規定がある場合を除いて、選手は靴を履き、ひざ当ておよび手袋（1D.1の用語の定義で規定された要件に適合するもの）を装着しなければならない。

24インチより大きな車輪で競技を行う選手は加えてヘルメット¹も装着しなければならない。

ダウンヒルコースティング、ダウンヒルグライディング、50m後進レースに参加する選手は（24インチ以下の一輪車を使用する場合でも）上記に加えヘルメットを装着しなければならない。

3B.2 Unicycles

Only standard unicycles may be used. Riders may use different unicycles for different racing events, as long as all comply with the rules for events in which they are entered.

For events divided by wheel size, there is a maximum allowable tire diameter and minimum crank arm length for each category:

Unicycle Class	Max Diameter	Min Crank Length	Transmission
16 Class	418mm	89mm	standard
20 Class	518mm	100mm	standard
24 Class	618mm	125mm	standard
29 Class	778mm	No limit	standard
Unlimited Class	No limit	No limit	unlimited

3B.2一輪車²

「標準一輪車」のみを使用することができる。出場する競技において種目ごとの定められている一輪車の要件をすべて満たしていれば、同一の選手がレースあるいは競技ごとに異なる一輪車を複数台使用してもよい。

車輪直径によりクラス分けされる競技については、タイヤの最大直径、最低クランク長ならびに駆動方式についてはそれぞれのクラスごとに以下の表によるものとする

クラス	最大外形	最低クランク長	駆動方式区分
16 Class	418mm	89mm	標準
20 Class	518mm	100mm	標準
24 Class	618mm	125mm	標準
29 Class	778mm	制限なし	標準
Unlimited Class	制限なし	制限なし	無制限

¹ ヘルメットについても 1D.1 で規定された要件を満たすものでなければならない。

² これは第 2 章の 2B.2 と全く同じことが規定されている。

For any tire in question, its outside diameter must be accurately measured.

Crank arm length is measured from the center of the wheel axle to the center of the pedal axle. Longer sizes may be used.

In all track racing events on standard unicycles, shoes must not be fixed to the pedals in any way (no click-in pedals, toe clips, tape, magnets or similar).

最大外径の規定に抵触するか（目視では）疑わしいタイヤについては、実際の外径を測定しなければならない。

クランク長は、車軸のハブの中心からペダル軸の中心までの長さを測定するものとする。規定より長いクランクの使用は認められる。

「標準一輪車」を使用するすべてのトラックレースにおいては、靴はいかなる方法でもペダルに固定してはならない（ビンディング、トウクリップ、テープ、磁石あるいはそれに類似した方法）

3B.3 Rider Identification³

Riders must wear their race number clearly visible on their chest so that it is visible during the race and as the rider crosses the finish line. Additionally, the rider may be required to wear a chip for electronic timing.

3B.3 選手の識別

レース中あるいはフィニッシュラインを通過する際に（番号カードが）はっきり分かるようにするために、選手は胸に番号カード（ゼッケン）をはっきり見えるように着けておかねばならない。さらに、主催者の指示がある場合には、主催者所定の方法で電子計時のためのチップを装着することが必要となる。

3B.4 Protests

Protests must be filed on an official form. Mistakes in paperwork, inaccuracies in placing, and interference from other riders or other sources are all grounds for protests. All Referee decisions are final, and cannot be protested. For a large event such as Unicon or continental championships, the default protest time is 60 minutes (counting from the posting of results), the minimum is 30 minutes. For smaller events, the default protest time is 30 minutes, the minimum is 15 minutes. Every deviation from the default protest time has to be clearly announced when the results are posted, including stating the protest deadline on the results list itself. The protest time may be extended for riders who have to be in other races during the protest period. All protests will be acknowledged within 30 minutes from the time they are received, and an effort will be made to settle the issue within those 30 minutes.

³ これも第 2 章の 2B.3 と同じことが規定されている。

3B.4 “Protest” プロテスト⁴

” protest” 「プロテスト」を行う場合所定の書式には必要事項を漏れなく記入して提出しなければならない。事務作業の誤りによる（記録発表における氏名などの）誤記、間違った順位の表示、他の選手から受けた妨害行為、あるいはその他すべての原因による選手の責任外である不利益や不都合のすべてが” protest” 「プロテスト」の対象になる。審判長による決定が最終のものであり、その決定に対して改めて” protest” 「プロテスト」することは認められない。UNICONあるいは大陸間選手権のような大規模な大会において、標準のプロテスト期限は（レース結果が発表されてから）60分以内、最短でも（レース結果発表後）30分以内とする。それ以外の小規模な大会では標準で30分以内、最短で15分以内とする。レース結果が発表されたときには、レース結果の掲示自身にプロテスト受付終了時間を含む、標準のプロテスト締め切りまでの残り時間は明確に告知されなくてはならない。プロテストが可能な時間中他のレースに出場しなければならない選手のためにこの（制限）時間が延長されることがあり得る。すべての「プロテスト」はそれが提出されてから30分以内に処理され、その30分以内に当該案件についての決定が下されることになる。

3B.5 Wheel Size Categories

Wheel sizes for track racing are 20 Class, 24 Class and 29 Class. Additional groups for 16 Class or other wheels can be added. When not otherwise specified, 24 Class is the maximum wheel size above age 10. For age groups with a maximum age of 10 or younger, the maximum wheel size is 20 Class (or smaller, if smaller sizes are also used). The youngest age group for 24 Class wheels should have a minimum age of 0, so riders 10 and younger have the option of racing on 24 Class with those groups (e.g. 0-13 or 14-16).

3B.5 車輪径によるクラス分け⁵

これらの種目における（標準的な）車輪径のクラス分けは20インチ、24インチと29インチクラスとする。さらに、16インチクラスもしくは他のクラスを追加してもよい。特に指定のないときは、24インチクラスが11歳以上の選手が出場できる最大の車輪径とする。10歳以下の選手の場合、最大の車輪径は20インチとする（なお、20インチより小さいクラス分けを採用する場合は、20インチクラスより小さい車輪径としてもよい）。10歳以下の選手が24インチクラスに参加することが選択可能とするため、24インチクラスにおける最も若い年齢区分は0歳以上とするべきである（例えば24インチ0歳以上13歳以下もしくは14歳以上16歳以下のように）

⁴ これも第2章 2B.4.と同じことが規定されている。

⁵ 第1文目の主語が違う以外は第2章 2B.5 と全く同じことが規定されている。

3B.6 Event Flow

In general, the rules of Track apply, such as false starts, lane use, and dismounts.

3B.6 競技のフロー

基本的に、不正スタート、レーン使用ならびに落車に関する規定などは第2章トラックレース必須6種目の規則を準用する。

3B.6.1 Relay (Track)

Usually 4 x 100m or 4 x 400m like in athletics.

The takeover zones are 20 meters long and must be marked on the track. Riders may remount if necessary, and must pick up the baton if it is dropped. The handover of the baton must be within the takeover zone. This means that before the baton crosses the start mark of the takeover zone *only* the incoming rider is in touch with the baton and at the end of the takeover zone *only* the outgoing rider is in touch with the baton. Riders may not throw the baton to make a pass and may not touch the ground with any part of their body while making a pass. If the baton is not handed over within the marked takeover zone, the team will be disqualified. Leaving of the lane within the takeover zone or when remounting does not result in disqualification as long as the riders do not obstruct, impede or interfere with another rider's progress. There is no defined preparation area for the next riders as long as they stay within their lanes. Mixed male/female teams may be used, and reasonable age groups may be used depending on the number of expected competitors of the event. Each relay team may have any mix of ages, the age of the oldest rider determines the age group.

3B.6.1 リレー（トラック種目）

通常は陸上競技のリレーのように⁶4x100mもしくは4x400mのリレーを行う⁷。テークオーバーゾーンは20mで、トラック上に目印がなければならない⁸。もし選手が

⁶ 訳注：「のように」の解釈次第では、「陸上競技規則」に厳密に準拠すべきか否かはどちらにでも取れるので十分に注意が必要である。特にタイムが速いがバトンの受け渡しが怪しいと思われるチームに対し、別のチームがこの記述を根拠にした「プロテスト」を行う可能性が考えられるので注意。

⁷ 訳者注：4x400については、UNICONでは少なくとも2004年の日本大会以降は公式な種目として開催された実績はない。

⁸ 訳者注：通常はトラックに陸上競技用のバトンゾーンが書かれていて、それをそのまま使用することが一般的である。このときは陸上のルール（日本では陸上競技規則）に準拠することが一般的である（が直接適用せよという記述にはなっていない）。もし、陸上競技規則をそのまま適用する場合、4x100mについてはテークオーバーゾーンの手前10mに加速ゾーン（いわゆるブルーゾーン）を設けることができ、その場合には事前に選手に周知しておく必要があるという規定がある（陸上競技規則第170条3および18）

バトンを落とした場合、必要に応じて¹⁰再乗車することができ、（乗車した状態で）バトン¹¹を渡さなければならない。バトンの受け渡し¹¹は（上述した長さ20mの）テークオーバーゾーン内で行わなければならない。バトンがテークオーバーゾーンの開始地点を通過する前においては前走の選手のみがバトンに触ることができ、バトンがテークオーバーゾーンの終了地点を通過した後は、次走の選手のみがバトンに触ることができる¹²。選手はバトン¹³を投げて渡してはならず、また、体のいかなる部分も地面に接触した状態ではバトンを受け渡してならない¹³。もし目印のあるテークオーバーゾーンの中でバトンの受け渡しがされない場合には、そのチームは失格になる。他の選手の邪魔をしたり、妨害したり、あるいは他の選手の行動を妨害したりしない限りは、テークオーバーゾーンでレーンからはみ出したり、テークオーバーゾーン内での再乗車は失格にはならない。選手がレーンの中にいる限りは、次の選手のために指定された待機場所はない¹⁴。男女混合チームでの出走も可能で、参加が見込まれる選手の数に応じて主催者が決めた独自の年齢区分で競技を行うことができる。各リレーチームでは男女混合のチームを組むことができ、年齢区分はチーム内で最も年齢の高い選手の年齢により決められる。

なお、一般的な陸上競技場では加速ゾーンは設けられているので、通常はその規定に従って加速ゾーンを使うことが一般的ではあるが、条文の規定上は事前に加速ゾーンが主催者より周知されていない場合には陸上競技規則からいうと使えないと解釈されるので一輪車リレーの場合は主催者に事前に確認する必要がある。

ただし加速ゾーンがあるといっても、一輪車リレーの場合は加速ゾーンから選手および一輪車がはみ出した状態での待機およびスタートをする行為、並びに加速ゾーン内でのバトンの受け渡しは失格となると一般的には解釈される。

⁹ 4x400m では陸上競技規則上も 4x100m のような「加速ゾーン」はないため、次走者はテークオーバーゾーンから体および一輪車がはみ出した状態で待機、あるいはスタートをしてはならないと解釈されることが一般的なので注意。

¹⁰ 訳注：「必要に応じて」とあるのは、この文の2文先で「体のいかなる部分も地面に接触した状態ではバトンを受け渡してならない」、つまり前走者と次走者両方が一輪車に乗った状態でバトンを受け渡さないとそのチームは失格になると規定されているため、少なくともどちらか1名が落車している場合にバトンを渡すには一輪車に再乗車が必要になるため。

¹¹ 訳者注：陸上のリレーにおいては、選手は陸上競技規則上手袋の装着が禁止されているが、3B.1.プロテクター類のところ、一輪車のトラックレースにおいては手袋の装着が義務づけられ、装着していないとスタートすることはできない。したがって、一輪車のリレーの場合、手袋に関する規定は陸上競技規則を準用しないので注意。

¹² 「バトンの位置」についての具体的な規定はないが、テークオーバーゾーン入口ではバトン全体が完全にテークオーバーゾーン区域内に入ってからでないとバトン受渡しをしてはならず、また、テークオーバーゾーン出口ではバトン全体が完全にテークオーバーゾーン区域内にあるうちにバトン受渡しをしなければならないと解釈することが妥当かと思われる。

¹³ 訳注：一輪車に乗車した状態でバトンの受け渡しが行われなければならないという趣旨で設けられた規定であると考えられる

¹⁴ 訳注：ただし、本条文前半に規定、ならびに陸上競技規則の規定を見る限りは、テークオーバーゾーン（4x100m で「加速ゾーン」がある場合には「加速ゾーン」を含む）の外で待機しているとそれだけで失格と扱われる可能性が高いので注意。

3B.6.2 Coasting Events

An event to determine which rider coasts the furthest distance. Riders' coasting distances are measured from a 'starting line' with a 5 meter minimum, which will be marked by a 'qualifying line.' If the rider does not cross the qualifying line it will count as a failed attempt. The farthest distance from the line wins. The distance is measured to the rearmost part of the rider that touches the ground when dismounting, or to the rear of the tire where the rider stops coasting. Remounting is not allowed. Riders must not touch any part of their tires, wheels or pedals while coasting. Riders get two attempts. If a rider crosses the coasting line (front of the tire) not in coasting position, he or she is disqualified in that attempt. The riding surface should be as smooth and clean as possible, and it may be straight or curved. Ample time must be allowed for all competitors to make some practice runs on the course before the official start. The type of event(s) to be used should be announced well in advance of the competition. Crank arm rules do not apply in any coasting or gliding events.

3B.6.2 コースティング

この競技はどれだけの距離をコースティングで乗車することができるかを競うものである。選手が「コースティング」をした距離は、（コースティングを開始すべき）スタートラインから計測し、スタートラインから最低5m以上先にある「記録有効ライン」を越えている状態でないと記録として有効にならない。もし、「記録有効ライン」を越えなることができなかつた場合、その挑戦は失敗として扱われる。最も遠くまで落車せずに行くことができた選手が勝者となる。記録は、（スタートラインから）落車したとき地面に接触している一輪車の最も後ろの部分までもしくはその選手がコースティング動作を止めたときのタイヤの最も後ろ（スタートライン寄り）の部分までの（どちらか短い方の）距離によって計測される。再乗車は認められない¹⁵。選手はコースティング動作中には体のいかなる部分¹⁶もタイヤ、車輪、ペダルに触れてはならない¹⁷。各選手は2回挑戦することができる。もしタイヤの最も前端部分がコースティングに移行すべき地点に引かれているライン¹⁸に到達したときにコースティング（姿勢に）移行しない場合には、その挑戦は失格として扱われる。競技を行うコースの表面はできるだけなめらかかつ清潔である必要があり、コースは直線もしくはカーブのある場所のどちらで

¹⁵ 訳者注：この場合、挑戦を1回行ったものとして扱われる。「最低記録ライン」より遠い地点で落車した場合はその挑戦は成功し、落車した地点までの距離が記録として有効になり、「最低記録ライン」に達しないで落車した場合は、その挑戦は失敗したとして取扱われる。

¹⁶ 訳注：これは特に足について言及したものと解釈されるが、当規定の適用範囲は足だけに限らない。

¹⁷ 訳注：この1文はいわゆる「コースティング」動作の定義である。

¹⁸ 訳注：ただし、記録はスタートラインからこのラインまでの距離を含むものとなる。

行ってもよい。(主催者は) 競技が公式に開始される前に、競技の行われるコースで練習を行える十分な時間が認められるようにしなければならない。競技開始に先立って、イベントの種類について十分に周知がなされていなければならない。すべてのコースティングならびにグライディング種目についてはクランク長の制限は適用されない。

3B.6.2.1 Road Coasting

This event is best held on a roadway with a very slight downward slope. Riders are allowed an unlimited distance to speed up and start coasting before the starting line.

3B.6.2.1 ロードコースティング

この競技はわずかに傾斜のある下り坂の道路で行われる。スタートラインに達する前であれば、どれだけ距離を使って加速をつけて助走を行ってもよい¹⁹。

3B.6.2.2 Track Coasting

30 meter speed-up distance. This event is held only on a track, or a very level, smooth surface. Wind must be at a minimum for records to be set and broken. This event can be compared with other races at different tracks worldwide.

3B.6.2.2 トラックコースティング

助走の距離は30mとする。この競技は(陸上の)トラック内、あるいはそれに準ずるような表面が滑らかな場所でのみ開催される。記録が認定されるか否かを判断する場合、風の影響が最小限になるように配慮しなければならない。この競技は他のレースと同様にその記録がトラック種目において世界中で同じ水準で(比較が)可能である。

3B.6.2.3 Downhill Coasting

This is a speed coasting event. Riders start from a standstill, or speed up to the 'starting line'. Riders are timed over a measured distance to the finish line. Dismounts before the finish line disqualify the rider in that attempt. The slope must be very gradual for this event to be safe, and helmets are mandatory.

3B.6.2.3 ダウンヒルコースティング

これは速さを競う競技である。選手は静止状態あるいは「スタートライン」までに加速をつけてスタートする。選手の記録は(「スタートライン」から)フィニッシュラインまでの(事前に計測されている)距離を通過した時点でのタイムとなる。フィニッシュラインに達する前に落車をしてしまった場合には、その挑戦は失格したものと扱われる²⁰。傾斜はかなり緩やかでかつ危険のない状態でなければならず、選手にはヘルメットの装着が義務づけられる。

3B.6.2.4 Indoor Coasting

¹⁹ 訳注：ここには書かれてはいないが、スタートラインより前にかつ競技エリア内の範囲内である必要はあるものと一般的には解釈される。

²⁰ 訳者注：当然だが、スタートラインからフィニッシュラインの間でコースティング姿勢でなくなった(と認められる)場合もその挑戦は失格(DQ)として扱われることになる。

30 meter starting distance. This event is held indoors in a gym, or on a very level, smooth surface. Rider will coast in a circle on the outer edge of the gym, separated by cones. Both directions are allowed for the start (clockwise or counterclockwise), and rider will have a maximum of 30m before beginning to coast. Indoor coasting is the recommended coasting competition at a Unicon.

3B.6.2.4 室内コースティング

助走の距離は30mとする。この競技は（室内の）体育館、あるいはそれに準ずるような表面が滑らかな場所で開催される。選手はコーンによって仕切られている体育館の外側の縁を周回する形でコースティングを行う。時計回りあるいは反時計回りどちらで競技を行うことも認められ、選手はコースティング動作に入るまで最大30m助走を行うことが認められる。UNICONにおいてコースティングを行う場合にはこの「室内コースティング」が推奨される。

3B.6.3 Gliding Events

Gliding is like coasting, but with one or both feet dragging on top of the tire to provide balance from the braking action. These events are similar to the coasting events above, with riders gliding for time or distance from a given point. The rules are the same as for the coasting events (above) with the addition that the riding surface must be dry.

Coasting is allowed.

3B.6.3 グライディング種目

グライディングはコースティングと類似しているが、ブレーキ動作でバランスを保つために片足あるいは両足でタイヤの上方を擦る動作も認められる。これらの競技はグライディング動作を行うという相違以外は上述のコースティング競技と類似したものである。また競技の規則についても上述のコースティングと同じであり、競技エリアの表面は乾燥していなければならない。コースティングを行うことは認められる。

3B.6.3.1 Slope Glide Or Track Glide

A slope glide can be done on a small hill. Riders start on the hill, gliding down to level ground and continuing as far as they can before stopping. This event can have a limited starting distance, or no starting distance at all, with riders gliding from a dead stop.

If it is a Track Glide, it is held on a track with the same rules as Track Coasting (see section 3B.6.2.2).

3B.6.3.1 スロープグライディングもしくはトラックグライディング

スロープグライディングは傾斜のゆるやかな坂道で行われる。選手は坂の上からスタートし、グライディングを止める前にできるだけ遠くまでグライディングで坂を下り続ける。この競技は完全静止からグライディングを行うまでにある一定の助走距離を設けても、あるいはまったく助走距離を設けなくてもよい。もし、トラックグライディングとして行う場合には、トラックコースティングと同一の規則で行う（3B.6.2.2トラック

コースティングの規定を参照)

3B.6.3.2 Downhill Glide

A downhill race for speed. Riders start from a standstill, or speed up to the 'starting line.' Riders are timed over a measured distance to the finish line. Dismounts before the finish line disqualify the rider in that attempt. Helmets are mandatory.

3B.6.3.2 ダウンヒルグライディング

ダウンヒル競技では速さを競う。選手は静止状態あるいは「スタートライン」までに加速をつけてスタートする。選手の記録は（「スタートライン」から）フィニッシュラインまでの（事前に計測されている）距離を通過した時点でのタイムとなる。フィニッシュラインに達する前に落車をしてしまった場合には、その挑戦は失格したものとして扱われる。選手にはヘルメットの装着が義務づけられる。

3B.6.4 Slow Forward

In Slow Forward, the rider rides in a continuous forward motion as slowly as possible without stopping, going backward, hopping or twisting more than 45 degrees to either side on a 10 m x 15 cm board. (If Age Groups are ranked, optionally a 10 m x 30 cm board for Age Group 0-10 may be used.) There are no crank arm length or wheel size restrictions for this event.

Riders must wear shoes. No other safety gear is required.

3B.6.4.遅乗り前進

遅乗り前進は10m×15cmの板の上で、途中で停止、後退、ホッピング、45度を超えるツイストをすることなくできる限りゆっくりと連続的に前進を行うものである（もし、年齢区分が設定されている場合、10歳以下の年齢区分においては主催者の裁量により10m×30cmの板とすることができる）。この競技に使う一輪車にはクランク長のおよび車輪サイズの制限はない。

選手は靴を履いていなければならない。これ以外のプロテクター類は不要である。

3B.6.4.1 Timing

The position of the unicycle during a Slow Race is measured from the bottom of the unicycle wheel. In a Slow Race, the rider starts behind the starting line. On command by the starter, the rider has 10 seconds to start forward motion and let go off the starting post. The timer starts recording time when the bottom of the wheel crosses the starting line. The time stops when the bottom of the wheel crosses the finish line, or touches the ground after the end of the board that marks the finish line.

3B.6.4.1 (遅乗りにおける) タイムの計測

遅乗りにおける一輪車の位置は車輪の最も下の地点から計測される²¹。遅乗りレースにおいては、スタートラインの後方からスタートする。スターターの競技開始の指示から10秒以内に前進動作を開始し、ポストから手を離す必要がある。タイムの計測は（スターターの合図あるいはその10秒後ではなく）、車輪の最も下の地点がスタートラインを通過した時点から開始する。車輪の最も下の地点がフィニッシュラインを通過したとき、もしくはフィニッシュラインが示されている板の終点を通過し地面に接触したときに計測を終了する。

3B.6.4.2 Optional Penalty Rules

Optionally, a host can decide to use a system wherein the judges may give penalties to riders who seem to make “micro-errors” or if the judges are in doubt whether an error was made. Examples of micro-errors are twisting about 46 or 48 degrees, or vibrations of the wheel. Each penalty deducts one second from the ridden time. Riders are still disqualified for clear errors, such as riding off the board, dismounting or twisting 90 degrees. Using these penalty rules is especially discouraged for possible errors for which a reliable objective detection system is being used.

3B.6.4.2 (主催者の裁量で選択されうる) ペナルティーの規定

主催者の裁量により、審判は「微小な反則」 (“micro-error”) を行ったもしくはそれが疑われる選手にタイム加算のペナルティーを与えることができる。「微小な反則」 "micro-error" とは、例えばおよそ46度から48度程度の車輪の蛇行あるいは車輪の（微小な）振動といった類の行為である。この場合には、実際にその選手が実際に乗車していたタイムから、（「微小な反則」あるいはそれが疑われる行為が発生した1回あたり²²）1秒を差し引いた記録とする。途中でタイヤが板（の左右方向）から外れてしまった場合もしくは明確な違反が発生した場合（例えば落車した場合あるいは90度以上のツイストを行った場合）にはその時点で直ちに失格になる。このルールを適用することによって、客観的かつ信頼性の高く、微小な兆候にも反応してしまう（不正走行）探知装置が使われる場合に起きうる（装置の）エラーによる誤判定を防ぐことになる。

3B.6.4.3 Qualification and Final rounds, Age Group ranking

At any competition, the host may decide not to offer Age Group ranking and awards.

Qualification and Final rounds are always required, and results from both count for Age Group ranking (if Age Groups are ranked), but previous results from other competitions

²¹ 2015年4月時点で有効の（公社）日本一輪車協会の国内レース規則における接地面と類似しているが、「車輪の最も下の地点」から計測されるため、国内レース規則による接地面の最前端よりはいくらか後方（選手から見ればいくらか前方）になる。

²² 訳者注：「微小な反則」が複数回発生した場合、「発生した回数×1秒」のペナルティータイムの減算（タイムの数字が大きい方が勝者になるため。ペナルティーはタイム減算となる）を受けるものと解釈することが適当である。

are not valid to be included in Age Group results.

Qualification round:

- For Unicon, riders must complete a time equal or greater than 45 seconds to move on to the finals. For other competitions than Unicon, the host may adjust the qualification time to a lower time as needed.
- Riders get two attempts to complete this result.
- Previous results are valid: If a rider has already completed a result of 45 seconds or greater at another competition, they can start automatically in the finals and they don't have to take part in the qualification round, provided that the result can be found in an official result list.
- The boards can be marked with tape on the floor.
- If judged by eye (as opposed to by an objective technical means), results from the qualification round will not be valid for records (world, continental, national and regional records).

Final round:

- All riders who are qualified for the final round start here.
- In order to have a fair competition, there will be a single team of judges, or (insofar available) an accurate and reliable technical means to check adherence to the rules.
- Riders get two attempts.
- Results from the finals will be valid for records (world, continental, national and regional records), regardless of whether they are judged by eye or by a technical means.
- The champion is the rider who performs the best result in the final round.

Results of both the Preliminary and the Final Rounds will be published.

3B.6.4.3 予選ラウンドおよび決勝ラウンド、年齢別でのランキング

予選ラウンド：

- 決勝に進出するためには、45秒以上の記録を（予選で）出す必要がある。
- 予選では予選突破基準の45秒以上の記録を出すまで、2回挑戦できる²³。
- 競技会で公式な記録として認定されている限り、その競技会²⁴において45秒以上の記録を出している場合には、その記録はその競技会の予選では有効となり、当該選手は自動的に決勝に進出となり、予選に出場する必要はない。
- 板はテープで床に固定されていなくてはならない
- 年齢区分は設定しない（出場者全員で競技を行う）。

²³ 訳注：2回挑戦して45秒以上の記録が出ない場合には決勝には進出できない。

²⁴ 訳注：実際にどの大会の記録をもって予選免除と認めるか否かは主催者の決定によると解釈される。

- (予選で出た) タイムは (公式の) 記録としては有効とならない (国際、各大陸、国内もしくは特定地方の記録あるいは大会記録として)

決勝ラウンド:

- 公平に競技が実施できるようにするため、審判団は1組のみで行う²⁵。
- 予選を突破し決勝に進出したすべての選手が決勝に出場する権利を有する²⁶
- (決勝では) 選手は2回挑戦することができる²⁷。
- (決勝で出した) タイムのみが (公式の) 記録として有効になる (国際、各大陸、国内もしくは特定地方の記録として)
- 決勝において最もよい記録を出した選手がチャンピオンになる²⁸。

3B.6.5 Slow Backward

This is the same as the Slow Forward race, with the following differences *in italic*:

- Riders ride *backward*.
- It is an error to ride *forward*.
- Riders ride on a 10 m x 30 cm board. (If Age Groups are ranked, optionally a 10 m x 60 cm board for Age Group 0-10 may be used.)
- For Unicon, riders move on to the finals if they have completed a time equal or greater than 40 seconds.

3B.6.5 遅乗りバック

これは以下の違いを除き、遅乗り前進 (のルール) と同じものである

- 選手は後方に進む
- 前進することは反則となる
- 選手は10m×30cmの板の上に乗って競技を行う
- 国内あるいは地方大会において年齢区分を設定する場合には、主催者は10歳以下の選手に対して10m×60cmの板を使うと決定することができる。
- 以前の (大会での) 記録が有効なものである限りは、(過去の大会において) 40秒以上のタイムを出している選手は (予選ラウンドに出場することなく) 決勝ラウンドに進出する。

²⁵ 訳者注：仮に板が複数枚設置されていても審判団1組で競技を行うため、選手は1人ずつ競技を行うことになるかと解釈される。ただし、この方法では決勝にかなりの時間を要するため、予選の段階で主催者が最低記録以外になんらか別の基準 (例えば予選および予選を免除する記録の上位何名のように)、もしくは複数回の予選を実施するなどの方法で決勝進出者を絞る可能性は否定できない。

²⁶ 訳者注：トラックレースのように、決勝突破に必要な最低記録などの決勝進出者の人数に (基本的には) 制限を設けないという趣旨であると解釈される。

²⁷ 訳者注：予選で挑戦した回数に関係なく、決勝において全員が1人2回挑戦できるという趣旨である。

²⁸ 訳者注：予選免除されない選手が予選で出した記録は考慮されないという趣旨である。

3B.6.6 Slow Giraffe Race

This is the same as slow forward, but on giraffes. Helping hands can be used as starting posts. No limits on size or gear ratio, but unicycles must have their pedal axle above the wheel axle, with a chain, belt, or other form of drive system.

3B.6.6 スター型一輪車遅乗りレース

これは遅乗り前進レース（3B.6.4.遅乗り前進の規定参考）と同じではあるが、スター型一輪車を用いたレースである。スタートポストの代わりに人の手によって補助を行ってもよい。サイズあるはギア比の制限は設けないが、チェーン、ベルトあるいはその他の駆動装置で結合されたペダルの回転軸の中心は車軸より上に位置していなければならない²⁹³⁰

3B.6.7 Stillstand

Stillstand is a competition in which the rider attempts to balance as long as possible.

The rider cannot hop or turn the tire more than 45 degrees, and must remain on a 25 cm long, 10 cm wide, and 3 cm tall block of wood. The competition should take place indoors on a level surface The only required safety gear is shoes.

Each participant has 2 attempts that can be done at any time during the time window set by the host. The host can decide to add to each of the 2 attempts a window up to 20 seconds, in which the competitor can start the number of tries needed.

The starting post is placed anywhere the participant prefers. Time starts running when the competitor lets go of the starting post. After time starts running, the starting post will be taken away. Time stops at the moment when the participant rides off the board, dismounts, starts hopping or turns the tire more than 45 degrees.

There are no finals for the Stillstand competition. The overall results will be determined by the best results for males and females respectively.

3B.6.7 完全静止

完全静止とはできるだけ長い時間バランスを保てるかを競うものである。ホッピングをしたり、45度を超えてタイヤを回転させたりしてはならず、長さ25cm幅10cmそして高さ3cmの木製のブロック上に一輪車に乗った状態を保っていなければならない³¹。この競技は室内で床が平らなところでのみ開催されるべきである。選手は靴を履いていなければならない。これ以外のプロテクター類は不要である。

各選手は2回挑戦することができ、主催者によって設定される（スタートを行うべき）時間制限の範囲でいつでも挑戦を開始することができる。主催者はその選手が挑戦を開

²⁹ 訳者注：この規定がないと出場可能な一輪車の種類をスター型一輪車と限定することができないため、最終文の規定が設けられているものと考えられる。

³⁰ 訳者注：ペダルの回転軸の中心から車軸の中心までの高さについての規定はなく、どの高さのスター型一輪車でもルール上は使用することができる。

³¹ 訳者注：この木製ブロックから落ちた場合はそこで計時が終了となる。

始するのに必要とされる回数の範囲内で20秒以内であればさらに2回挑戦することを認めることができる。

スタートポストはその選手の最も乗車しやすい任意の位置におくことができる。選手がスタートポストから手を離れたときにタイムの計測を開始する。タイム計測が開始された後は、スタートポストを（選手の手が届かない位置へ）撤去する。板の上から落下したとき、落車したとき、ホッピングを開始したときあるいはタイヤが45度を超えて左右方向に回転した瞬間にタイム計測を終了する。

完全静止では決勝ラウンドを行わない。最もよいタイムを出した選手男女各1名を（完全静止の）大会チャンピオンとする。

3B.6.8 700c Racing

Races of any length and type can also be conducted in a 700c wheel category.

- Maximum bead seat diameter (BSD): 622 mm.
- If these races are intended to exclude 24 Class wheels, sizes must be greater than 618 mm.
- No restrictions on crank length.
- Beyond these, 700c unicycles must comply with all other requirements for racing unicycles.
- The host may choose age groups.

3B.6.8 700c レース

700cの車輪のカテゴリーによっていかなる距離および形式のレースを行うことも可能である。

- ビード座直径（BSD）は622mm以下である
- もし、（標準の）24インチクラスの一輪車を除外したいという意図がある場合には、車輪直径618mm超という制限を加えなければならない。
- クランク長に関しての制限は設けない
- 700cの一輪車は上記の規定以外に「レース用一輪車」に規定されている要件をすべて満たしていなければならない。
- 主催者は自由に年齢区分を設定することができる。

3B.6.9 Unlimited Track Racing

An unlimited race is one in which there are no unicycle size restrictions. Any size wheels, any length crank arms, giraffes or any types of unicycles (see definition in chapter 1D.1) are allowed. All other Track racing rules apply.

3B.6.9 車種無制限トラックレース

車種無制限レースは使用できる一輪車にサイズの制限を設けないで行われる種目である。いかなる車輪の大きさ、クランクの長さ、スター型あるいはその他いかなるタイプの（第1章 Definition 1dに規定されている）「一輪車」を使用することが認められる。

本条に規定されている以外の事項についてはトラックレースの規定（第2章および第3章）が適用となる。

3B.6.10 Juggling Unicycle Race

The traditional distance is 50 meters. Riders use the 5 meter line from the One-Foot Race, and must be juggling when they cross this line. Three or more non-bouncing objects must be used. If an object is dropped (hits the ground) or the juggling pattern is otherwise stopped, the rider is disqualified. Two balls stopping in one hand during a 3-ball cascade is defined as stopping. Riders who start by juggling four or more objects may drop one, as long as their pattern continues, unbroken, into three. The juggling pattern must be 'in control' when the rider crosses the finish line. 'Control' is determined by the Referee.

3B.6.10 ジャグリングレース

今まで行われたことがあるのは50mのレースである。片足乗りの5mラインを使い、選手が5mラインを越えたときには（一輪車に乗車した状態で）ジャグリングを行わなければならない。3個あるいはそれ以上のはずまない物体を用いなければならない。もし物が落ちた（地面に接触した）場合もしくはジャグリング（のパターンが）止まってしまった場合その選手は失格となる。3個でジャグリングを開始して2個の物体が1つの手の中に納まってしまったときには（パターンが）止まったとみなす。4つあるいはそれ以上の数でジャグリングを開始し、1つ以上を落としたが3つでパターンが止まらずに継続している限りは失格にはならない。ジャグリングのパターンはフィニッシュラインを通過するまで「コントロールされた状態」にななければならない。「コントロールされた状態」の判定は審判（の目視）による。

3B.6.11 Ultimate Wheel Race

An ultimate wheel is a unicycle with no frame or seat. Traditionally, for riders in age groups with a maximum age of 10 or younger the race distance is 10m, while for all other riders it is 30m. Maximum wheel size is 618 mm (24 Class) for all ages, with 125 mm minimum crank arm length or 250 mm between pedal holes. The host may allow other limitations, or none, if these details are announced well in advance.

3B.6.11 原型一輪車レース

原型一輪車はフレームもしくはサドルのない一輪車である。今まで行われたことがあるのは10歳以下の選手は10mで、11歳以上の選手は30mのレースである。全年齢において車輪の最大径は618mm以下であり、クランク長は125mm以上もしくは両ペダルの穴の距離が250mm以上である。競技開始前に（大会特別）ルールについて十分に周知をするのであれば、主催者はここに規定されている以外の制限を課すこと、あるいは全く制限を設けないことができる。

3B.6.12 50m Fast Backward

Riders must face and pedal backward. The Starter lines up the rear of the tire above the start line. Helmets are mandatory. Timing is stopped when the rear of the tire crosses the finish line.

3B.6.12 50mバックレース

選手は正面を向いて³²後方に一輪車をこがなければならない。タイヤの最も後ろの部分がスタートラインを越えないようにスタート態勢を取る。ヘルメットの装着が義務付けられる。タイムの計測はタイヤの最も後ろの部分がフィニッシュラインを越えたときに終了する³³。

3B.6.13 Medley

This is a race involving riding several different ways of riding.

Example: Forward 25m, seat in front 25m, one foot 25m, hopping 10m, with 5m transition areas. Rules are set by the host. Remounting is allowed.

3B.6.13 メドレー

これは複数の異なる乗車技術を組み合わせて競うレースである

例：前進25m、サドル前持ち乗り25m、片足25m、ホッピング前進10mを5mの移行エリアで乗車方法を変更して行う。ルールは主催者によって設定される。再乗車（落車）は認められる。

3C Judges and Officials Rules

All Track Other events follow the Track Racing judges and officials rules, unless otherwise noted.

3C 審判ならびに運営スタッフに関する規則

トラック競技（必須6種目以外）の審判ならびにスタッフに関する規則は、3章で特記されていない限りは2章のトラックレースの規則による。

³² 訳者注：「正面を向いて」というのは、通常の前進レース（100m、片足、タイヤ乗り他）と逆の方向を向いてという意味である。

³³ 訳者注：ここでは明示されていないが、当然に一輪車の「コントロール」に関する規定は前進と同じものが規定されるものと考えられる。その場合、タイヤの前方が完全に通過するまで両足がペダルについた状態で一輪車を「コントロール」していなければ記録は有効にならないと解釈される。

3D Event Organizer Rules

All Track Other events follow the Track Racing event organizer rules, unless otherwise noted.

3C 主催者に適用される規則

トラック競技（必須6種目以外）の審判ならびにスタッフに関する規則は、3章で特記されていない限りは2章のトラックレース（必須6種目）の規則による。

3D.1 Communication

If a large convention advertises events with the names of the ones detailed in this section, they must use the rules provided here. If hosts desire to do variations on these rules, the events must be labeled accordingly. Example: "Track Gliding; Modified". In cases such as this, hosts must remember to provide detailed rules for these events at the same time the events are announced.

3D.1 参加者への告知

もし大きな大会で当ルール上に独立した規定を設けている種目を行う場合には、ここに記述のある規定を用いなければならない。

もし、主催者がこれらに書かれているものと違うルールと異なるものを使用したいと希望する場合は、イベントのタイトルに（本ルールを適用しないと明瞭に分かるような）表示をしなければならない。例："Track Gliding;Modified"「トラックグライディング モディファイド」。この場合、主催者はその競技を行うと告知する時にルールの詳細について公表することを忘れないようにする必要がある。

3D.2 Age Groups

Age group breakdown is also up to the host.

3D.2 年齢区分

年齢区分の詳細についても主催者が自由に設定することができる。

第3章 以上

参考文献（第1部、第2部、第3部、第4部共通）：2015年4月現在有効なものによる
日本陸上競技連盟競技規則 第3部 トラック競技
日本一輪車協会 レース国内競技規則